

① わかりやすく

・ 下水処理場リーフレット

大阪市内に12箇所ある下水処理場のしくみや役割、特色などを記載したリーフレットを作成し、処理場ごとに行っています。



② おもしろく

・ 下水道科学館

下水処理のしくみ（4F）

家庭から出た汚れた水が、どのようにきれいな水になっていくかを、“汚水” になったつもりで、下水処理場の主な汚水処理施設の模型のなかを通り抜けるうちに、汚水処理のしくみが学べます。



地下探検号（モーションライド B1F）

地下を掘削するシールドマシーンをイメージした外観、地上・地下・水中、どこでも走行可能な地下探検号に乗り、体感しながら世界各地の地下の名所を訪ねていきます。



・ 下水処理場の一般公開

近隣にお住まいの方を中心に下水処理場や下水道に関して理解を深めてもらうため、施設を年1回公開し、施設見学等を実施しています。



・ 水の流れツアー

水陸両用バスなどを利用し、淀川（大川）と、上下水道の各施設を見学し、身近にある水がご家庭に届き、再び自然に還るまでを学んでいただけます。



・太閤（背割）下水見学施設

豊臣秀吉による大阪城築城の際に原型が作られたといわれている石積の下水溝を見学施設として整備しています。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000010446.html>



③ みたされる

・消化ガスによる発電

下水道はエネルギー資源としても大きな可能性を秘めています。また、下水道が有する利用可能エネルギーは地球環境にやさしいクリーンエネルギーとしての価値もあります。

津守下水処理場では、下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスを燃料として発電を行い、その廃熱も利用するコジェネレーション施設を民間事業者の技術的能力や創意工夫を活用できるPFI手法により整備しています。



・汚泥溶融スラグの有効利用

下水処理により、毎日大量の汚泥が発生しますが、資源の有効利用の観点から、下水汚泥を建設資材として更なるリサイクルを進めるため、舞洲スラッジセンターや平野下水処理場の汚泥溶融炉で汚泥を溶融スラグ化し、有効利用を図っています。

